

- 生体電磁環境国際シンポジウム開催のお知らせ  
—電波の安全性に関する国際ガイドライン—
- 平成18年10月16日

独立行政法人情報通信研究機構(以下NICT。理事長:長尾 真)は、電波の安全性に関する問題と電波防護の国際ガイドライン等を一般の方々にわかりやすく解説することを目的とした国際シンポジウムを、国内外の専門家を招いて11月8日(水)に開催します。  
参加費は無料、同時通訳も行ないますので、是非ご参加下さい。

## 記

### 生体電磁環境国際シンポジウム ——電波の安全性に関する国際ガイドライン——

- ◆日時: 平成18年11月8日(水)13:00~17:30
- ◆会場: 全国都市会館2F大ホール(東京都千代田区平河町2-4-2)
- ◆主催: 独立行政法人 情報通信研究機構
- ◆協賛: 総務省、国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)、世界保健機関(WHO)
- ◆URL: <http://www.ilcc.com/nict-ws/>(詳細はこちらから)

#### プログラム(予定)

- 13:00~13:15 開会挨拶 NICT理事 松島 裕一
- 13:15~13:25 総務省挨拶 総務省総合通信基盤局電波部長 河内 正孝 氏
- 13:25~15:30 国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)の活動の紹介  
ICNIRP議長 Dr. Paolo Vecchia等
- 15:50~17:30 パネルディスカッション(司会:首都大学東京教授 多氣 昌生氏\*)  
○WHOの取り組みについて WHO専門研究員 大久保 千代次氏\*  
○日本の研究について 九州大学教授 上野 照剛氏\*  
○NICTの研究について NICT/EMCグループリーダ 山中 幸雄  
○国民生活と電磁波問題 主婦連合会 山根 香織 氏  
○小児の電波吸収特性について 名古屋工業大学教授 藤原 修氏\*  
○電磁波過敏症について ICNIRP副議長 Dr. Maila Hietanen  
○予防原則について ICNIRP議長 Dr. Paolo Vecchia

(\*)NICT招へい専門員を兼務

#### <問い合わせ先>

情報通信研究機構 総合企画部広報室  
栗原 則幸、大野 由樹子  
Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587

#### <シンポジウムに関する問合せ先>

情報通信研究機構電磁波計測研究センター EMCグループ  
山中 幸雄、渡辺 聡一  
Tel: 042-327-5430、Fax: 042-327-6675

## 【用語解説】

### ICNIRP : International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection(国際非電離放射線防護委員会)

ICNIRPは、非電離放射線に関する国際的な独立専門組織であり、電波や光の人体への安全性について科学的見地から検討し、ばく露制限のガイドラインの策定を主な任務としている。ICNIRP委員は、中立性を確保するために、大学や国立研究所等の非営利組織の研究者により構成されている。これまで、科学的な知見に基づく十分な安全率を考慮した電波防護に係る国際ガイドラインを策定(1996年)しており、日本も含む多くの国がこれと同等のガイドラインを採用している。

### WHO : World Health Organization(世界保健機関)

WHOは1996年より国際電磁界プロジェクトを推進しており、様々な電磁界の健康リスク評価に関する国際プロジェクトを推進している。2006年初頭には直流電磁界についての健康リスク評価が完了しており、その内容が環境保健基準(Environmental Health Criteria)として発行されている。今後、順次、極低周波(50/60Hz等の商用電源周波数)電磁界、高周波電磁界の健康リスク評価および環境保健基準の発行が進められていく予定。

# 生体電磁環境 国際シンポジウム

∴電波の安全性に関する国際ガイドライン∴

日 時：平成 18 年 11 月 8 日(水) 13:00 ~ 17:30

会 場：全国都市会館 2F 大ホール

主 催：独立行政法人 情報通信研究機構(NICT) URL: <http://www.ilcc.com/nict-ws>

協 賛：総務省 国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP) 世界保健機関(WHO)

同時通訳：有り

参加費：無料

#### 開催趣旨

携帯電話や電子タグ等の電波を利用した機器が身の回りに増えています。我が国をはじめ世界各国で、これらの無線機器からの電波が人々の健康に影響を及ぼすことがないレベルを定めた電波防護ガイドラインが作られています。我が国を含む多くのガイドラインは国際非電離放射線防護委員会(International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection; ICNIRP)が策定したガイドラインと同等の内容になっています。ICNIRPガイドラインは、世界各国の専門家により科学的な知見に基づいて策定されており、世界保健機関(World Health Organization; WHO)はICNIRPガイドラインに基づいた電波の利用を推奨しています。本シンポジウムではICNIRP委員と国内の研究者から、国際ガイドラインと近年関心が高まっている電波の健康影響に関する話題について、一般の人々にわかり易く解説を行います。

#### プログラム(予定)

- 13:00 ~ 13:15 **開会挨拶**  
独立行政法人 情報通信研究機構(NICT)理事 松島 裕一
- 13:15 ~ 13:25 **総務省挨拶**  
総務省総合通信基盤局 電波部長 河内 正孝
- 13:25 ~ 15:30 **国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)の活動の紹介**
- ・全体の活動概要 ICNIRP 議長  
Dr. Paolo Vecchia
  - ・疫学研究とガイドライン 第1常任委員会(疫学)委員長  
Dr. Anders Ahlbom
  - ・生物研究とガイドライン 第2常任委員会(生物学)委員長  
Dr. Bernard Veyret
  - ・物理・工学研究とガイドライン 第3常任委員会(物理・工学)委員長  
Mr. Rüdiger Matthes
  - ・WHOとガイドライン ICNIRP名誉議長/  
前 WHO 国際電磁界プロジェクトディレクター  
Dr. Michael Repacholi
- 15:50 ~ 17:30 **パネルディスカッション(司会:西都大学客員教授 多岐 晶生\*)**
- (1) WHOの取り組みについて WHO 専門研究員 大久保 千代次\*
  - (2) 日本の研究について 九州大学教授 上野 悠樹\*
  - (3) NICTの研究について NICT EMCグループリーダー 山中 幸雄
  - (4) 国民生活と電磁波問題 名古屋工業大学教授 藤原 伸\*
  - (5) 小児の電波吸収特性について ICNIRP副議長 Dr. Milla Hietanen
  - (6) 電磁波過敏症について ICNIRP議長 Dr. Paolo Vecchia
  - (7) 予防原則について ICNIRP議長

#### お申込み方法・問い合わせ先

参加には事前の登録が必要です。  
専用の申込書またはシンポジウムウェブサイト(<http://www.ilcc.com/nict-ws>)にてお申込ください。  
なお、定員を超えた場合には参加をお断りする場合があります。

生体電磁環境国際シンポジウム事務局  
(株)ILCC内  
〒107-0052  
東京都港区赤坂 2-17-44  
Tel: 03-5562-3677  
Fax: 03-5562-3666  
E-mail: [nict-ws@ilcc.com](mailto:nict-ws@ilcc.com)

\*NICT 招待専門員兼務

